

## 編集後記

唐突ですが、密かに自負を抱いておりました。「専任教員の中で、新潟大学歯学部のことを最も知らないのは自分であろう……」という自負？ です。そのような人間が、事もあろうに歯学部における広報の象徴的存在である「歯学部ニュース」の編集責任者となってしまったらどのような事態に陥るか。まさに、読者諸氏のご推察のとおりであり、執筆いただいた皆様をはじめ、編集委員の皆様、広報委員会歯学部ニュース担当・大島教授、広報委員会担当・林副学部長には、「歯学部ニュース平成20年度第1号は果たして発行されるのだろうか？」という深い疑念？を抱かせてしまったのではないかと反省しております。しかしながら、私にとっては、建物の中で各分野の大まかな位置関係が分かる、幾人かの先生方の顔と名前が一致するなど、主に想起レベルの知識に関する自己学習を進めることができたのではないかと考えています。

ともあれ、皆様のご寛容と多大なるご協力のもとで、無事発行という次第となりました。改めて御礼申し上げます。  
口腔生命福祉学科福祉援助学 高橋 英樹

今回人生のなかで初めて編集委員というものをつとめることとなりました。

担当となったのは学部長はじめ、教授陣でしたので、緊張致しましたが、先生方はお忙しいにもかかわらず迅速な対応をして頂きました。ありがとうございました。特集で取り上げさせて頂いた、食の支援ステーションの関係者の皆様にも、本業のお忙しいなか、歯学部ニュースの趣旨を汲んで原稿執筆を快く引き受けて頂き、感謝致します。学内外への周知のきっかけとなれば幸いです。

また「大学院へ行こうのコーナー」ではともに口腔生理で学んだ懐かしいお二人への原稿依頼を提案させて頂きました。お二人とも予想通り熱い思いを返して頂きました。ご活躍の様子も伺うことができ、自分自身の刺激にもなりました。  
摂食嚥下・リハビリテーション学 大瀧 祥子

今回、「入学者のことば」「総合診療室を経験して」などの編集を担当させていただきました。学生さんや若い先生方に原稿をお願いしましたが、皆さん快く引き受けてくださり、本当に感謝しております。携帯メールの影響でしょうか？ 中には改行をあまり用いない方もおられ、世代のギャップを感じつつも、エネルギー溢れるフレッシュな原稿を早々に読ませていただき、私も元気をもらいました。執筆していただいた方々、編集委員の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。  
小児歯科学 三富 智恵

大学勤務も比較的長くなったなと感じる昨今、今回初めて歯学部ニュースの編集作業を手伝わせていただきました。私の担当した一つ、素顔拝見は毎号楽しみなページであり、今回も多くの先生から普段聞けないような興味深いお話を頂いたこと感謝しております。また、講座員だからという理由でIADRの報告をお願いし、快く引き受けてくれた奥村先生はもとより、慣れない作業の中多数の先生にご迷惑おかけしたことをこの場を借りてお詫びするとともに、ご協力に対して御礼申し上げます。  
加齢・高齢者歯科学 佐藤 一夫

今回、初めて歯学部ニュースの編集に携わりました。毎号、目を通してはいますが、いざ編集となるとなかなか大変でした。そんな中で特に学務係、庶務係の方にはお忙しい中、入学者や国家試験合格者名簿、ならびに人事異動や各種委員会などの原稿を用意していただき、頭の下がる思いでした。編集と言っても原稿をお願いするばかりでしたが、本当に関係者の方々には感謝しております。ありがとうございました。  
歯科矯正学 朝日藤寿一